

構造総体としての耐震性能評価を取り入れた京町家改修指針作成に
向けて - 熟練伝統技能者の大工棟梁等の持つ耐震改修ノウハウに関わる共通則の抽出その 2 -

平成 21 年度住まい・まちづくり担い手事業(長期優良住宅等推進環境整備事業)補助研究

「京都の伝統的な木造住文化と歴史的まちなみを地震や火災から護り抜く
—京町家の改修指針作成とその普及啓発の活動を通して—
(平成 21 年度(社)日本建築学会近畿支部協賛事業)

(財)京都市景観・まちづくりセンター平成 21 年京町家まちづくりファンド活動助成モデル事業補助研究

「京町家の改修指針作成に向けて
熟練伝統技能者の持つ耐震改修ノウハウに関する研究」

今年度は昨年度に引き続き、上記 2 種の研究に取り組んでいますが、来年 1 月 31 日(日)に KARTH 耐震研究チーム代表の鈴木 有 先生(金沢工業大学名誉教授、木の住まい考房主宰)のご指導の下、下記の要領でワーキングメンバーの合同会議を開催いたします。
各種ワーキングにご協力いただける方はお気軽にご参加下さい。

1. 開催日時 2010 年 1 月 31 日午後 1 時半～ 6 時頃(延長の可能性もあります)

2. 会 場 西陣ヒコバエノ家 京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

3. 議 題(予定)

1. 今年度のこれまでの耐震研究成果の中間報告と課題の検討、今後の予定

各種耐震診断方式の比較・分析(限界耐力計算手法、京町家方式等)

大工棟梁等の耐震診断・改修ノウハウの共通則の抽出・分析

終局状態でも耐力が期待できる耐震性能評価要素の抽出と評価方法の検討・提案

各種ワーキングの役割分担

その他

2. 2 月 6 日(土)開催防火セミナーの役割分担について

3. 各地の木造伝統住文化、歴史的まちなみを地震・火災から護り抜くための普及・啓発活動について

参加予定者 鈴木 有 先生、米田英三 大工棟梁、石田良雄 大工棟梁、廣部 捍 大工棟梁、
渡邊照夫 大工棟梁、佐藤嘉一郎左官技能者 他

参 加 費 会員・ワーキングメンバー：無料、会員外 600 円(資料代)

参加申込み方法 1/23(土)までに下記までお申し込み下さい。

<申込み先> 関西木造住文化研究会

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail:info@karth.sakura.ne.jp、<http://karth.blog13.fc2.com/>

参考テキスト(頒布資料)

昨年度の耐震研究報告書 2 種(本文 A4 版 80 ページ、別冊資料編 85 ページ) 各 1000 円(会員外 1500 円)

その他

会場に客用駐車場はありません。なお、周辺は通過交通が多い狭い道路のため、自転車で来訪される場合は、西側の出入口から敷地内に入り、自転車を駐輪してください。

KARTHとは

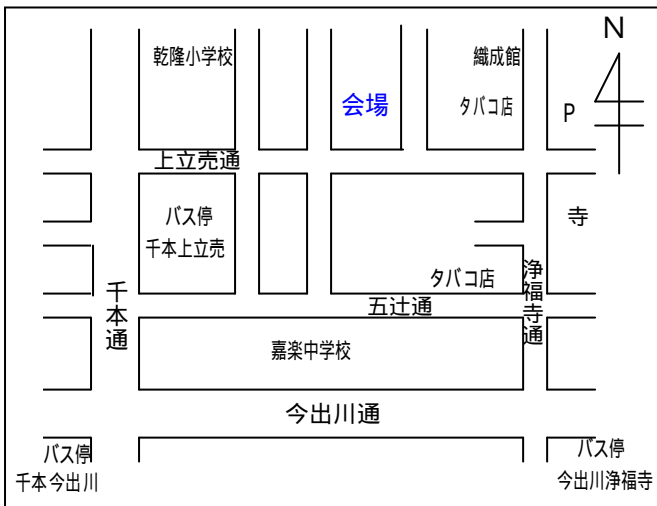
各地の木造伝統構法の伝統技能者、研究者、設計者、施工者、市民等、様々な分野の多くの方々のご指導・ご協力による協働研究方式で、京町家をモデルに、木造伝統住宅の地域固有の伝統文化を活かした防火・耐震性能向上手法の研究開発と、研究成果を各地の伝統木造住宅・歴史的まちなみの保全・再生に活かすための啓発活動に1999年以降、継続的に取り組んでいます。

また、地震被災地の被災住宅の修復情報支援活動も行っています。

現在、下記の4チームが中心となって上記活動に取り組んでいます。

耐震研究チーム、防火マニュアル作成チーム、被災指針作成チーム、防災情報普及チーム

会場案内図:西陣ヒコバエノ家(中2階建て)



JR 京都駅から会場への交通アクセス (JR 京都駅より約40分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」下車、今出川通りの西行きバスに乗車後、「今出川浄福寺」下車。又は、市バスA3乗り場の「206」又はB2乗り場の「50」、「101」系統バスから乗車後、「千本今出川」下車、徒歩約5分。
角地。家の前のお地藏さんが目印。東側:青空駐車場

西陣ヒコバエノ家とは

薬(ヒコバエ)とは「枯れ木の根元から新しい芽が生えること」を意味します。

木造伝統文化の今後の都市への再生の可能性や具体的再生手法を総合的・工学的に検証することを目指して改修した町家(江戸期築)。防火・耐震改修手法の有効性を防火・耐震実験で検証して実現した日本初の町家再生事例。

建物見学公開(事前申込制、見学協力金300円)。木の文化を活かした安心・安全の住まい相談コーナー常設

「京都西陣の町家再生～西陣薬(ヒコバエ)ノ家～とその構造・防火・温熱環境性能の検証」活動は、NPO木の建築フォーラム2003年度第1回木の建築賞大賞を共同受賞(研究者との共同受賞)

西陣ヒコバエノ家の主な紹介記事(実験含む)

建築技術2008年2月号、特集「実務の現場から学ぶ既存木造住宅の耐震改修」 「4.実例に見る既存木造住宅の耐震改修 京町家の防火・耐震改修」、田村佳英、武田真理子

(財)日本建築総合試験所機関紙「GBRC」、2009年1月号、Vol.34、.3、技術報告「京町家の耐震性能評価手法の研究開発(その1)全体概要・土壁の水平耐力試験・京町家の耐震診断と振動実験」、田村佳英、武田真理子
(財)都市計画協会、「新都市」、2007年5月号、特集論文「都市災害からの復旧と備え」 「京町家の防火・耐震研究開発を通じた関西木造住文化研究会の取り組み」、田村佳英

(財)日本建築防災協会機関紙「建築防災」、2007年2月号、特集「地域の人材を活用した防災」-「地域固有の伝統を活かす関西木造住文化研究会の活動紹介」、田村佳英

(財)京都市景観・まちづくりセンター、「なるほど!京町家の改修～住みつづけるために～」、「事例21 地域固有の木造文化を生かした住まいづくり」、2003年

木造建築研究フォーラム、木の建築49号、「木造の科学:火事に強い伝統木造土壁の可能性」、長谷見雄二、2000
同上、木の建築49号、「伝統的耐震構法の構造特性:伝統民家の耐震改修」、鈴木有、2000

連続寄稿、木のこころ、第13号、「木造伝統住文化の都市への再生を目指して KARTHの取り組み」、
「火事に強い木造町家の可能性を実験を通じて考える」、長谷見雄二、日本林業経済新聞社、2000.9

同上、第14号、「木造伝統住文化の都市への再生を目指して KARTHの取り組み」、「地震に耐えうる木造町家の可能性を実験を通じて考える」、鈴木有、日本林業経済新聞社、2000.11

KARTHフォーラム2000頒布資料、「伝統軸組構法による木造土壁のせん断耐力試験の結果概要+データ集」、KARTH耐震実験WG代表 鈴木有、2000.9.30

KARTHフォーラム2000頒布資料、「伝統軸組構法による木造土壁の載荷加熱試験報告書」、KARTH火災・燃焼実験WG代表 早稲田大学理工学部建築学科長谷見研究室、2000.9.30、他

